



メキシコ

メキシコシティ

2008年7月～2010年7月 滞在
(2023年記)

子どもの年齢 子どもの帯同なし

基本情報

気温	気候は年間を通じて温暖で、最も寒冷な12月と1月で東京の秋程度、一番暖かい4月から7月で東京の初夏程度 高地のため一年を通じて日差しは強い 冬は薄手のコートで過ごせる
緊急電話	066(警察) 火事や交通事故の場合 066 から各担当機関へ転送有り 24時間対応
電圧	110～120V(ボルト)で、周波数は60Hz 日本の電圧は100V、周波数は50～60Hzなので、日本の電化製品を利用する場合は変圧器が必要
水	一般的に、水道水ではなくミネラルウォーターを飲用していることが多い

買い物

日本の物	日本食材店(Mikasa)あり
食料品	通常の食材は一般スーパーで問題ない 野菜や果物の値段は安い。日本食レストランも複数ある
日用雑貨	質を問わなければ大型スーパー、ショッピングモール、百貨店で一通り手に入る
衣類	質を問わなければ大型スーパー、ショッピングモール、百貨店で一通り手に入る Zaraがある

交通

公共交通	自家用車か無線タクシーを利用 地下鉄、バスや流しのタクシーは軽犯罪が多く避けたほうが良い
運転免許	試験はなく、運転免許センターに行って代金を払えば免許を取得できる

住居

住宅事情	ほとんどが家具付きマンション 物件数は多い
日本人が多く住むエリア	ポランコ地区
使用人	人件費はそれほど高くなく、使用人を雇うことも可能
治安セキュリティ	強盗、スリ、置き引き、空き巣などの軽犯罪は多数発生 首都メキシコシティは凶悪な犯罪は多くないが、メキシコ内の都市によっては組織的犯罪が常時発生しているため旅行時は十分な注意が必要

病院

医療事情	医療レベルは一定の水準を満たしている 日本人が多く住むポランコ地区に、精神科を含め各科の診療が可能であり、集中治療室も備え、心臓外科手術、脳外科手術も可能な総合病院 Hospital Espanol (オスピタル・エスパニョール)がある
日本人医師	Hospital Espanol をはじめ、日本語が通じる日本人・日系人医師がいる病院が複数ある 日本語が通じる歯科もある 「日系メディカルグループ」の医師が受診・入院のサポートを日本語で行ってくれる
薬品	市中の薬局で調達可能

交流

日本人	在留邦人は 3500 人 日本人会(日墨協会)、日本人学校で知り合うことができる
現地の人	子どもを現地校、インター校に入れる人は学校を通じた交流がある
駐在外国人	子どもをインター校に入れる人は学校を通じた交流がある

伝えたいこと

歴史的に日本人・日系人が多く、メキシコ人は基本的に親日感情を持っているため過ごしやすいです。
在留邦人も 3500 人おり、日本人学校(Liceo)や日墨協会という交流施設があるため日本人が交流しやすいです。
公用語がスペイン語であること、治安の問題、標高が高さによる健康上の問題を除けば、気候的には過ごしやすく、メキシコ国内旅行先は豊富にあることなどから、子ども連れで行くには良いと思います。